

生活創造空間

にし NISHI

～アンラシネを目指します～

第7号 2011年7月10日発行



「生活創造空間にし」

いままでとこれから

生活創造空間にし 副館長 熊井マユミ

～地域への情報発信源として～

『生活創造空間にし』は、今年の6月で3年目を迎えました。社会福祉法人 横浜共生会と、社会福祉法人 県央福祉会で共同運営をしよう！ということで、準備段階から数えるともっと時間が経っています。開所してからの2年間は本当にあっという間でした。開所する前から、ここは「施設」といイメージではなく、誰もが通いやすい「空間」にしていこう、ここから何かを発信していこう、というコンセプトで建物のハード面から、運営面のソフト面も含めて情報を共有しながら運営してきました。

地域への発信として、「あらためて障害を知る」というテーマのもと、様々な障害についての研修会を企画し、2年間で8回ほどの研修を実施しました。そして、「さりげなく・ていねいに・ゆっくりと」を合言葉？でスタートしたコンサートは、数えると2年でなんと140回！！開催することができました。

講師を引き受けてくださった方、コンサートにご出演してくださった方に感謝します。また、西区第3地区の福祉施設 9事業所があ

つまり、横のつながりを作りながら、じんわりと福祉が地域に浸透していくことを願い、それぞれの事業所のもてる力を少しずつ持ち寄ったお祭りにしようと、「福祉フェスタ」を開催しました。

～生活創造空間にし これから～

こうしてみると、結構盛りだくさんに情報発信したように思います。横浜共生会 ガッツ・ビーと西、県央福祉会 エヌ・クラブ、それぞれ違う機能の社会資源がお互いの機能を活かしながら、これからも『生活創造空間にし』が地域へ根付いていけるものは何か、これからも考え、地道に情報発信を続けていきます。地域に支えられ育ってきたことへの感謝の気持ちを忘れず、地域により深く根ざすことを目指して、やさしさの種をまいていきます。

「生活創造空間にし」ができること

地域活動ホーム ガッツ・ビーと西 阿部 浩之

2011年6月で「生活創造空間にし」は、西横浜の地に根をはって2年が経ちました。自分が本格的に準備に携わり始めたのが2009年5月からでしたので、そこから数えると丸3年たったこととなります。

時が経つのは早いなあと感じる一方、非常に充実したそしてとっても濃い3年でした。この濃い3年間を振り返って過去を懐かしむのもよいのですが、終わったことを語っても前には進めませんので、「これから」の話をします。

～生活～

障がいある方への支援の拠点であり続けること（相談、仕事、生活、余暇など）。2つの施設でできることはまだまだあると思いますので、他にも見出していきます。法人という枠を超えて障がいある方をどう支えるかを考えていける場、これが「生活創造空間にし」であると胸を張って言いたい。

～創造～

「生活」を支えるために具体的にどんなことができるのか？一つは必要な資源を創り出していきます。ケアホーム、日中活動の場などの社会資源をただ作るのではなく、この近隣地域でどのような資源が必要なのかをご利用者ニーズから吸い上げる作業と創り上げるための準備（勉強会など）を行っていきます。

もう一つは、地域ネットワークの強化です。西区地域自立支援協議会も3年目を迎え、形骸化しないための取り組みを考えなければいけない時期を迎えています。例えば、もう一度各事業所がどのような取り組みをしているのかを知り合うための事業報告会・フォーラム等の企画を考えられたらなんて思っています。

～空間～

地域と地域をつなげる、様々な人の出会いの場（空間）を考えます。コンサート（ランチタイムコンサート・夜コンサート）、シャララカフェ、おもちゃ文庫など今までと変わらずに誰もが入れる空間の提供を継続していきます。

地域に根をはり始めましたが、芽を出したばかりで実をつけるまでには何年かかるかわかりません。夢で終わってしまわないためにもできることを地道にコツコツと積み上げていきます。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。



生活創造空間にし 西区での地域連携研修を連続企画する！



2009年6月 生活創造空間にし(就労サポートセンター エヌ・クラブ、地域活動ホーム ガッツ・ビーと西)が開所してはやいもので2年。あっというまに経過していきました。生活創造空間にしの歩みも少しずつ地域に根差したものになってきたようで。生活創造空間にし研修の昨年は「改めて障がいを学ぶ」シリーズを行いました。1回は「視覚障がい」2回は「精神障がい」3回は「難病」4回は「聴覚障がい」と当事者等をお招きし厚い思いを語っていただきました。それぞれ「障がい」ありながらも、生きるしんどさだけでなく人としての素晴らしさが伝わる前向きないい研修になりました。

そして2011年は「地域連携研修」を考えます。2009年7月 西区自立支援協議会が設立されました。各部会 各委員会等含めこの協議会は西区らしさを培いながら動いてきました。ホームページも作ることが出来、ネット上でも様々な機関連携が立ちあがってきました。2年たって改めて西区地域を眺めて見ると自立支援協議会メンバーでなく個々に地道な歩みをしている地域の先達の存在があります。民生・児童委員の方々そして当事者、その他多くの方々があります。そんな思いの中で第1回として長らく西区の民生・児童委員として横浜の福祉を牽引してこられた桜美林大学教授の大溝茂さんをお招きし、「あらためての西区の地域福祉」を西区施設関係者・民生児童委員等の方々に語っていただきます(2011年7月5日18:00～)。この西区で本気になって行政の事業区分けを越えて横断的な「しなやかな連携」を模索していきたいところです。第2回、3回、4回も考えていきます。この連続研修に多くの方々の参加をお待ちしています。今後ともよろしくお願いいたします。

<N(エヌ・クラブ)G(ガッツ)研修担当 渡辺>

ガッツ・うめ

6月20日。今年もガッツ・ビーと西に梅が届きました！昨年度、ご好評いただいた梅ジュースと梅干しです。はりきってさっそく翌日から、作業室・すとりべりーにて、梅作業に取りかかりました。

外は梅雨空。湿りがちなうっとうしいくらいの空気。しかし、梅を洗ってみると、甘いけれどちょっと酸っぱいような爽やかな香りでお部屋が包まれ、「よい匂いがする！」「桃やプラムみたいだね。」と歓声があがったのでした。

そして、竹串でヘタを取り除くご利用者さんの眼差しは真剣そのもの。

ピンに梅と真っ白な氷砂糖を丁寧につめていくと、あっという間に目にも涼しげな梅ジュースのピンがたくさん並びました。

またその翌日には、じっくりとまわしながら煎り、雪のようにさらさらになった塩と梅酢をふりかけて梅干しの仕込みをしました。



梅作業を終えてご利用者さんから、ひとこと。

「明日には、梅ジュース飲めますか!？」

・・・さて、丹精こめて作った梅ジュースと梅干し、皆さまにお届けできるのは、風もすっかり涼しくなった秋頃、**第三地区福祉フェスタ**です。ご期待下さい!!



エヌ・クラブ 華の営業

エヌ・クラブの自主製品の販売を始めて丸2年を迎えました。

今もまだまだ山あり谷ありますが、ここまでやってこられたのは地域の皆様、お客様に支えられてこそだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、6号までエヌ・クラブで行っている作業をいくつか紹介させて頂きました。その中で自主製品のパンやレトルトカレーのお話をさせて頂きましたが、製品を作ったからには販売しないとならないわけです！しかし、作ったチームが販売したり営業に出るのは時間的にも人手的にも厳しい(>_<)専門的に営業や販売を担う部門があるといい！という話になりました。そこで昨年末に「華の営業部門」が立ち上がりました。

現在、定期販売先には販売・営業に所属するご利用者の方が担当しています。営業としてのマナーや挨拶、服装等に気を付けることはもちろん、何よりも笑顔で接客することを大切に販売先に伺っています。はじめはお客様に声を掛けたり、「ありがとうございました」との一言がとても恥ずかしかったり、勇気が必要だったりしましたが、今は随分と慣れてきたのではないかと思います…いかがでしょうか？

「華の営業部」には聴覚障がいの方もいらっしゃいますので、お客様の声にお応え出来ない事もあろうかと思いますが、その分とびきりの笑顔を持ってお応えしますので、販売先で出会った際にはぜひお立ち寄り下さい。

ごあんない



生活創造空間にし 1階 シャララカフェもめでたくオープン2周年です♪

♥♥地域のみなさまに感謝を込めて♥♥

7月28日(木)、29日(金)、30日(土)の3日間 夏のバスタフェア!!

を開催致します!生活創造空間にしのホームページにもようやくシャララカフェのご案内がOPENしました。フェアの内容やプレゼントクーポンがついたチラシを掲載しておりますのでぜひご覧ください。ご来店を心よりお待ちしております♪

♪～「生活創造空間にし」では音楽が流れます～♪

エヌ・クラブ 鈴木 和人

2011年4月28日(木)18時… 予定通り5回目のステーション邂逅が行われました!

今回は、violin:川名 祥哉さん、piano:川名 圭子さん、高橋 友子さんをお呼びしてクラシックを中心に演奏して頂きました。

たくさんの地域の方が来て下さり、会場は人でいっぱいとなりました!!

翌日からゴールデンウィークが始まるということもあったからか、会場はわくわく感が高まった様子でした♥

ヴァイオリンの音色が心地よく、目を閉じ旋律に酔いしれている方も多くいらっしゃいました。

また、素晴らしい音色を聴かせてください。

第5回のステーション邂逅でも様々な出会いがありました。第6回はどのような邂逅になるのでしょうか。「邂逅...それはめぐりあい...」



腹黒日記～黒々なるままに～ ☆老いては、・・・従いたいね。☆

国会の会期が70日間延長され、8月末までは菅直人首相による内閣が継続される。おそらくこの号が皆様のお手元に届く頃も代わっていないだろう。野党だけでなく民主党執行部からも退陣の話が出ていて、菅下ろしこそが復興の第一歩とまで揶揄されている。そんな中でも当の本人はますます意気盛んといった様子だ。

人生の大先輩たちの言葉には、一家言があり、そうやすやすとは曲げられない。「老いの一徹」という言葉もあり、皆様基本的に、頑固になるらしい。「老いては子に従い」という言葉は、基は、三従という教えの一部分で、ややジェンダーの要素が含まれてくるらしいのでここでは推奨しないが、それでも新勢力、次世代の羽ばたきを抑制するものではない方が美しい。小生も今年で齢50を迎えるが、気をつけたい。大熊と逆さ熊、そして九官鳥が生まれれば、明日もきっとアンテナを進めてくれる。(腹グロール)

生活創造空間にし URL: <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活創造空間にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)